

「和」のセミナー

エンジョイ!! 日本舞踊!!

一緒に日本伝統文化を楽しく学びましょう!

日本の伝統芸能である“日本舞踊”。小道具の使い方などの基本動作を、体験してみましょう。日本伝統芸能に触れ合うことで、和の心と所作を学び、日本をもっと深く楽しみましょう! 男女を問わず参加できます。学部学生・院生・研究生(人数に余裕があれば教職員も)の参加をお待ちしています。(定員約20名:谷垣(アジア・日本教員) marttani@ezweb.ne.jpまで事前連絡願います)

◎企画内容:2013年6月21日(金)6限@和館(駒場池前)

*日本の踊りとは? 礼儀作法や基本の動作を体験して頂きます。

- 「藤娘」の一部披露、○おじぎの仕方、○浴衣などの着付
- お扇子の開き方、閉じ方、テンジン返し、要返し
- お扇子での表現(山、川、傘、鶴)○所作(歩き方・すり足体験)
- 「三ツ面子守」の出を体験 (ツケと所作体験)

*三ツ面子守(みつめんこもり)・常磐津

三つのお面を笹の枝につけて出た子守が、そのお面をかぶって踊り、子供にあやして見せるというものです。恵比寿、おかめ、ひょっとこの三つのお面をかぶり替えながら踊り分けるユーモアと哀感を描いたものです。

◎持ち物 ゆかた、腰ひも2~3本、帯(ゆかた用ならOK)、肌襦袢・すそよけ(TシャツにスパッツでもOK)、たび(厚めの靴下でもOK)。ゆかたなどお持ちでない方には貸し出しますので、6月19日(水)午後3時までにご連絡ください。



東路 要(日本舞踊家) 日本女子体育大学卒業。幼少より母親の東路流家元・東路寿美師に師事。15歳より橘流家元・橘芳慧師に師事。日本舞踊協会会員。現在、後進の指導、日本舞踊公演、国立劇場等に出演。伝統芸能子ども教室で日本舞踊や子ども歌舞伎の指導にも携わる。日本舞踊家として、大河ドラマ「武蔵」「功名が辻」等に出演。アメリカ、メキシコ、シンガポール、中国等、海外公演にも参加。

芦野孝男(伝統芸能プロデューサー) 伝統芸能(邦楽邦舞、歌舞伎、民俗芸能など)の普及を目的とする「舞藝舎」制作代表。伝統芸能や古典芸能のプロデューサーのほか、各地の公文協・学校・地芝居での歌舞伎を中心に義太夫や鳴物などのワークショップを開催、狂言方などもつとめる。全日本郷土芸能協会 専門委員。NPO法人舞台芸術21ネットワーク理事

制作協力:世田谷伝統芸能に親しむ会

共 催 : 地域文化研究分科アジア・日本研究コース、大分県立大分舞鶴高校東京同窓会